

22日に行われたオーケストラAプログラムで、ピアニストの務川慧悟さん(前列左)、電波楽器
オンド・マルトノ奏者の原田節さん(同右)と共にカーテンコールで拍手に応える沖澤さん



花で飾られたキッセイ文化ホール入り口。
オーケストラAプログラムのあった22日には記念撮影する人の姿が見られた



世界に誇る 音楽の祭典



松本市で開催中の国際音楽祭セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)は多彩なプログラムがあり、多くの人たちが一流の音楽に親しんでいる。オーケストラコンサートAプログラムは首席客演指揮者の沖澤のどかさんがサイトウ・キネン・オーケストラ(SKO)を指揮し、メシアンの「トゥランガリーラ交響曲」を奏でた。熱気あふれるOMFの一端を紹介する。【関連記事23面】
(土屋智彦、真田尚子、鎌倉 希、伊沢 陽)



Aプログラムの曲中、タンバリンを打ち鳴らす松本深志高校出身の金井麻理さん。テンポに合わせて巧みに音を響かせた



カーテンコールで永世総監督の故小澤征爾さんのミニマスコットを持ち笑顔の沖澤さん(右)



Aプログラムでシンバルを鳴らす松本深志高校出身の高山泰利さん。会場に迫力ある音が広がった

23日のオーケストラコンサートの来場者を笑顔で迎えるボランティア。会場には多くの来場者がおり、音楽祭の盛り上がりを感じることができた。



24日にイオンモール松本で開かれた特別出前コンサート。SKOメンバー6人が映画「ロッキー」や「銀河鉄道999」などを奏で、観客400人以上が熱狂した



キッセイ文化ホールでSKOから演奏技術を教わった17日の催しに参加した小中学生らで記念にパチリ



来場者の荷物を預かるクロークもボランティアが担う。23日のオーケストラコンサート終演後、「お気を付けて」と笑顔で声をかけ、荷物を返却していた



23日のオーケストラコンサートの来場者に無料のワインサービスを提供するボランティア。会場のあちこちに笑顔で客を出迎える姿がある



21日にまつもと市民芸術館で開かれた、コントラバス奏者・池松宏さん(左)とハープ奏者・吉野直子さんによる特別出前コンサート。軽妙なトークも聴衆を楽しませた



16日にあがたの森文化会館で行われた「室内勉強会」で成果を披露後、講師らと一緒に記念撮影する若手奏者